

## 第4回 新宿食姿勢研究会（SSR）と書いてエッチーと読む議事録

開催日時：平成30年4月4日(水) 19時～

開催場所：ふれあい歯科ごとう

参加者(五十音順)：池田 OT、市川 PT、越後 PT、鴻上 PT、五島歯科医師、柴山 ST、曾部 PT、関根 PT、袴田 PT、山上福専

### 1. 症例検討

担当：山上（福祉用具専門相談員、K-WORKER）

概要：誤嚥のリスクが高い在宅生活者。姿勢も悪いが何を変えたら良いか分からないとの事で相談があった。介入し、現在使用している椅子が大きな問題と判断。また、身体からはリクライニング・ティルト車椅子が適当と考えられた。リクライニング・ティルト車椅子を導入した所、姿勢改善。ただし、歩行可能であり、車椅子導入は困難との事で、自宅にあった椅子にクッションやタオルを使用し、即席でリクライニング・ティルトと同効果の椅子を再現。

担当：越後（PT、K-WORKER）

概要：栄養士から写真のみで相談のあった症例。1回の食事でゴロゴロ（咽頭残留）が2～3回ある利用者。ずっと椅子の背もたれに寄りかかったままで、姿勢も悪いと思うとのこと。写真からの判断で、PTから体幹に対し頭部が前方にある。頸部屈曲位の為一見よさそうだが、頸部全面筋の筋緊張が高く、嚥下に影響がありそう。OTからは注意障害が顕著。テレビの方ばかり向いている。が、意識レベルを高くするにはテレビは有効かもしれない。テレビの位置を正面に持ってこれないか。食器とテーブルがどちらも白く、意識向けにくい。との意見があった。これら意見を栄養士に伝える。

### 2. 次回にむけて

- ①もっと症例数を集めたい。姿勢で悩んでいる方がいたら写真を持ってこれないか声をかけて行く
- ②姿勢の直し方と姿勢の見方をパターン分けできそうではないか？検討していく。

### 3. 飲み会

次回開催日：平成30年6月6日(水) 19時00分～

開催場所：ふれあい歯科ごとう